



令和5年5月17日

長崎市立伊良林小学校 校長 片岡 勝志

人を元気にする言葉

5月9日（火）の全校集会で、次のような話をしました。

私は、新しくこの学校に来て、楽しみになっていることがあります。それは、朝校門で、「おはようございます。」と挨拶をすること。これって、本当に気持ちがよくなります。また、皆さんから挨拶されると、たくさん元気をもらいます。

皆さんは、挨拶は大切だよって、よく言われますよね。でも、なぜ挨拶が大切なのか、考えたことがありますか。

「挨拶をすると、とても明るい気持ちになります。周りも明るくなります。」

「挨拶は人と人とを結び付けてくれます。」

「挨拶をすると、なかよくなれます。」

挨拶が大切な理由は、いろいろあると思いますが、私は、「挨拶は人を元気にするから大切だ」と思っています。

私たちの暮らしの中には、「人を元気にする言葉」が、たくさんあります。

そのたくさんある「人を元気にする言葉」の中で、私が、これは一番パワーがあると思っている言葉があります。それは、「ありがとう」です。「ありがとう」は、人に何かしてもらったときに言う言葉です。「ありがとう」を言われると、とても嬉しくなりますよね。言う方も気持ちがよくなります。「ありがとう」は、みんなが元気になる大切な言葉なのです。

私たちは、いつも、お互いに助けあって生活しています。いつも、色々な事を、人からしてもらっています。例えば、給食で考えてみましょう。給食は、自分で作りますか。作ってもらっています。野菜は、野菜やさん、お肉はお肉やさん、牛乳は牛乳やさんが運んでくれます。給食を給食室に取りに行くのは誰ですか。当番の人が行きますね。給食一つとってみても、自分一人では、どうしようもありません。

私たちの生活の中には、人にしてもらっていることが、本当にたくさんたくさんあります。皆さん、ぜひ、人にしてもらっていることをたくさん見つけてみてください。そして、「ありがとう」がたくさん言える人になってほしいと思います。

昨日の朝のことです。地域の人が、皆さんが通る学校の前の道をきれいに掃除してくれていました。

「いつも道をきれいにしてくれて、ありがとうございます。」

皆さんの中に、こんな素敵な「ありがとう」を言う人を見つけました。

言われた地域の方は、とてもにこにこしていました。言った人も、にこにこしています。それを見た私も、とても嬉しくなりました。たくさん元気をもらいました。

「ありがとう」は、人を元気にする魔法のような力があります。

今、皆さん、運動会の練習を頑張ってますね。きっと、「ありがとう」を言うチャンスがたくさんありますよ。

伊良林小学校の目指す子供の姿の一つに、「感謝する子」があります。人は周りとの様々な関わりの中で生活しています。何かしてもらった時、お世話になった時に「ありがとう」としっかり言える子に育てたいと思っています。

運動会まであと数日。練習を頑張る子供たちに、励ましの言葉かけや体調管理など様々なお世話をしていただき、ありがとうございます。